

港の整備を口実に第2湾岸建設ねらう千葉県

今年1月に策定された「千葉港長期構想」は、大型化している外航船舶への対応やアクセス道路の混雑解消、コンテナ貨物の利用率の向上などを掲げた極めて大規模なもので、千葉県財政に大きな影響を及ぼすのは明らかです。

まったく根拠もなく巨大開発に着手

しかし大型船が必ず来る保証はなく、旅客船が来られるようにという計画も来るから来ないかまったくわかりません。

海を埋め立て2本も橋を架ける

これほど根拠があいまいであるにもかかわらず、千葉中

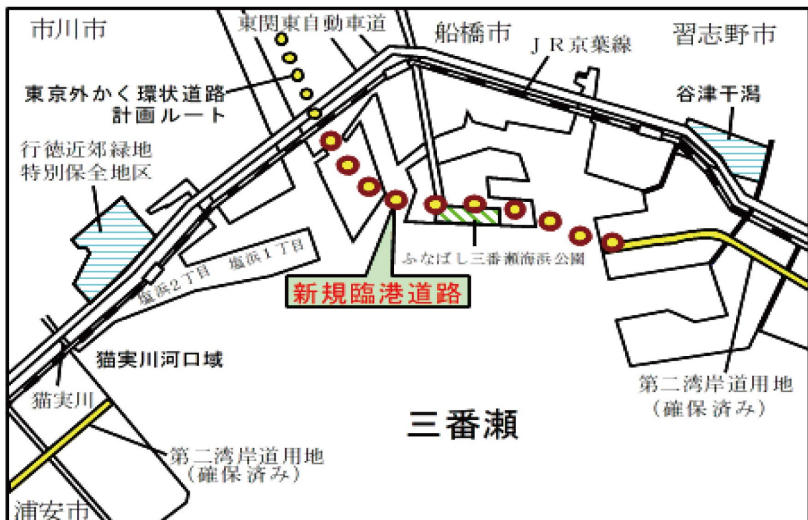
将来の貨物量では、現在のコンテナ貨物の取り扱い量（20フィートコンテナ換算で10万個）を、20年後には3倍、30年後には4倍にすることを目指すとしています。

しかし、1月に行われた地方港湾審議会では、目標達成の根拠についてまったく答えることができませんでした。

また、1月に行われた地方港湾審議会では、目標達成の根拠についてまったく答えることができませんでした。

第2湾岸道路は三番瀬の埋め立て計画が白紙撤回された

上の図は千葉港長期構想の臨港道路ルート
下の図は県が示した第2湾岸道路のルート



ため、構想は残されているものの建設の用途は立っていない。港の整備にかこつけて、事実上、第2湾岸道路の建設が動き出すようなことはあつてはなりません。

月の残業時間最長で162時間17分 教師の長時間勤務の是正は急務の課題

教員の多忙化が深刻です。千葉県教育委員会の東葛飾教育事務所が、管内6市教育委員会を通じて「月80時間以上の超過勤務者」について調査を行いました。その結果、80時間を超えている教員が柏市だけで小中合わせて277人、100時間を超えている教員が、85人もいます。最長は、中学校の教務で162時間17分という驚くべき長時間残業でした。

文科省も部活動時間の是正求める

その多忙化の要因の一つが部活動への指導です。2007年、文部科学省が「運動部における休養日などの設定例」として、「中学校では週2日以上以上の休養日の設定」「土日については家族や部員以外の友達、地域の人々など」とより触れ合えるようにするという学校週5日制の趣旨に配慮「長くても平日は2〜3時間程度以内、土日は3〜4時間程度以内」など具体的に例示をして実施を求めました。ところが千葉県では、内容を伝達するだけで改善のための実態調査などは

建設費はまったく試算していない

さらに問題なのは、どのくらい費用がかかるのか、まったく算定していないことです。大規模な埋め立てや2本も巨大な橋をかければ、事業費は数千億円単位になるのは目に

見えています。これほどの超巨大事業であるにもかかわらず、概算さえ示さないで県民の納得を得られるものではありません。

不要不急の大規模開発は見直して、まずは暮らしや福祉、教育を中心に税金を使うべきです。

千葉県は運動系部活動時間全国最長

昨年度、文科省が行った調査では、千葉県の部活動の運動実施時間は、1週間の平均時間で男子は18時間18分、女子は19時間3分となっており、ともに文字通り全国トップ、全国一番、部活動の時間が長い県となっています。

長期療養の教員が毎年600人も

こうした多忙化による長時間残業が、教員の長期療養の背景になっています。

千葉県の教員の長期療養休暇は2015年度で578人に上っており、毎年600人前後で推移しています。この

県教委として、こうした状況を是正するために、いままでの延長ではなく、学校ごとに個別的に改善を求めるなどの思い切った手立てが必要で